

# 山形県保健師長会ニュースレター

令和2年1月31日 第18号 発行：山形県保健師長会

明けましておめでとうございます。新たな1年がまた始まりました。今年は子年ということで、十二支でもトップランナーです。古事記では大黒様を助けたとか、また、繁栄の象徴であるとか、あるいは、夢の国の人気者だとか様々な顔があるようですが、私たちもねずみのように、真面目にコツコツ、高い適応力を見習いながら、この会とともに前に進んでまいりましょう。どうぞ、今年もよろしくお願いたします。

さて、今回のニュースレターは、昨年11月に開催されました「第41回全国保健師長会代議員総会」と「令和元年度全国保健師長研修会」への参加ご報告をお伝えいたします。 (記:会長 小松香)

## 「第41回全国保健師長会代議員総会」に参加して



第41回全国保健師長会代議員総会

- 令和元年11月16日(土)、岡山市において第41回全国保健師長会代議員総会が開催されました。全国から代議員153名(委任状119名)が集まり、本県からは黒田理事と石澤会員が出席しました。会長からは被災者へのお見舞いととも、「住民の声を聴き、寄り添い、足で出向き、一層の働きかけを行いたい。虐待や貧困、自殺等に対し、保健・医療の専門職としての活動が求められている。令和の幕開けとともに、若い保健師のロードモデルとなれるように活動していきたい。」とのあいさつがありました。
- 今年度は「みる・つなぐ・動かす～保健師の原点から住民とともに創る未来～」をテーマとした基調講演と、「地域に責任を持った保健活動について」をテーマにシンポジウムが行われました。総会では、令和元年度収入支出補正予算(案)、令和2年度活動方針(案)等の提出議題が全て可決されました。
- 昨年度総会で否決された、OB保健師から本会に後方支援等をいただくことについては、今年度の総会では議案とすることは見送り、今後継続的に協議し、機会を捉えて規約改正等の検討を行う旨の報告がありました。また、首都圏のホテルの金額が上昇しているため、宿泊費を増額することとなりました。
- 基調講演の内容を一部ご紹介します。

### 基調講演「みる・つなぐ・動かす ～保健師の原点から住民とともに創る未来」 東邦大学看護学部/大学院看護学科研究科 教授 岸恵美子 氏

#### ◆保健師の教育の現場から

・疫学データ及び保健統計等を用いた地域アセスメント、支援展開、健康課題への継続的な支援と社会資源の活用等を実践する能力の強化、施策能力の強化が求められている。そのため、保健師教育の内容を3単位増とした。

#### ◆「みる・つなぐ・動かす」を実践するために

・PDCAを回すこと、特に評価が大切である。  
・評価を行うことで業務の進行管理や活動の方向性の確認に役立つとともに、活動の成果から事業の根拠が明らかになり、活動の意義が見える化できる。

#### ◆保健師に期待される役割

・これまで、地域における活動を保健師が中心に行ってきた蓄積を活かしながら、看護職の強みである医療・介護との連携の仕組みで中心的な役割を果たす。  
➡多職種・住民に保健師の必要性・存在意義を伝えていく。  
・地域を知っているのは保健師であり、地域に必要な職種であることをアピールしていきましょう！

(記:会員 石澤めぐみ)



山陽新幹線40周年記念のお弁当です。

## 「令和元年度令和元年度全国保健師長研修会」に参加して

令和元年 11 月 14 日(木)～15 日(金)、岡山県岡山市にて開催され、全国から 369 名が参加しました。  
テーマ「地域に責任を持つ保健師マインドを育てるリーダーの役割」

### 【講演 I】「ともに育ち合う保健師人材育成に果たすリーダーの役割」

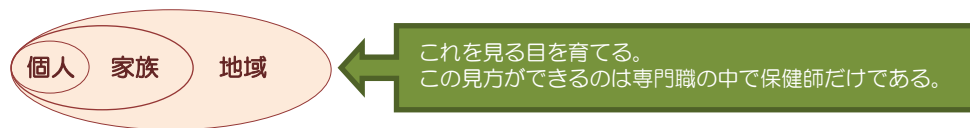
講師 国立保健医療科学院 主任研究官 成木弘子氏

#### ◆10年～20年先を見据えた人材育成

- ・2040年問題に対応できる人材を育成するしかない。時代と共に成長し続ける人間をつくっていく。対応モデルがない時代の中で、自律して成長を続けるために、変化の量と質に匹敵する学習が必要。人材育成の手技を獲得するだけでなく、保健師活動のビジョンをメンバーと描いていく。
- ・リーダーシップと共にエンパワーメントマネジメントを推進し、指導者・部下がともに育ち合っていく組織風土の育成が重要な役割となる。

#### ◆地域活動を一言で説明できるか？

- ・地域活動は保健師本来の仕事。業務分担か地区分担かではなく、地域の複数の事例のつながりや健康課題の状況により選択や組合せを行う。メンバーが地域に出ている時間を作り出すのが役割。
- ・常に PDCA サイクルを回し続ける(特にモニタリングを大切に)。担当者に投げかけ、確認すること。
- ・複数の事例のつながりから地域を見る。事例と合わせて事象を見る。地域に関連づけて考えられるかが重要であり、保健師としての資質の向上が望める。



### 【シンポジウム】 テーマ「保健師人材育成に果たすリーダー保健師の役割」

座長 国立保健医療科学院 主任研究官 成木弘子氏

#### 【実践報告①】「保健師基礎教育のカリキュラム改訂の動きから、保健師現任教育に期待すること」 自治医科大看護学部学部長 春山早苗氏

- ・いま看護職に求められるものは、対象者の多様性・複雑性へ対応できる持続性と切れ目のない支援
  - ➡看護職への ICT コミュニケーション能力・地域在宅看護論において、地域をアセスメントする力や専門職連携実践能力・多様な場での役割発揮能力等を取入れたカリキュラム改正が行われている。

#### 【実践報告②】「保健所と市町村管理職保健師が共同で進める保健師～OJTとOFF-JTを連動させた保健師人材育成の取り組み」 岡山県津山市こども保健部 次長 鏡真由美氏

岡山県備中保健所 総括参事 猪元信子氏

- ・班体制をとっているため、指揮命令系統が明確化。
- ・事業ごとに PDCA シートを作成し推進。シートについては保健師みなで意見を出し合い作成していく。
  - ➡同じ方向を向くことができると保健師活動がまとまり、同じような対応が可能になっていく。

#### 【実践報告③】「誰もが健康に暮らせる『ことわか』をめざして

県民ビジョン

～三重県における市町村及び県の保健師人材育成の取り組みについて～

三重県医療保健部健康づくり課 副参事兼班長 丸山明美氏

- ・伊勢神宮は 10 年毎に宮を新しく作る。「ことわか」とは三重県の言葉で『永遠に若々しくある』という意味。
- ・まさに、保健師はその時代に合わせて変わっていくことができる職種
  - ➡基本の「健康の維持」は変わらないが、時勢に適応し、変化し対応できる意識を常に持っている。それを念頭に三重県保健師人材育成体制が作り上げられた。

## 《グループワーク》 テーマ「保健師人材育成に果たす保健師リーダーの役割

コーディネーター・助言者 国立保健医療科学院 主任研究官 成木弘子 氏

### ★実践報告を振り返り、人材育成の how-to でなくリーダーの役割りとして考える

- ・リーダーとはいわば「旗振り役」と思っている。地域を見る・聞く・つなぐこと
- ・それぞれの考えを話し合う場づくりが話しやすいということが条件。働き続けられる保障づくりが必要
- ・目的をもって活動できるサポートが大切。班長と話し合いながらエンパワーメントできるようにしている。
- ・PDCA シートで共有(保健師・栄養士・OT・行政の全員)し、全員が各仕事の内容を知っている。  
行政職は「専門職がいるから自分たちも仕事ができている」と理解あり、そう思い合える環境が大事。
  - ➡全体が見える努力を惜しまない。工夫する。
- ・新たに保健師を目指す人の可能性、将来のビジョンに期待している。必要数を確保できない時代が来るかもしれない。看護師が保健師業務を行うかもしれない。危機感をもって活動することが必要。
  - ➡保健師でなければできないこと PR をしていく。
  - ➡夢をもって保健師を目指す人が増えるよう、保健師としての活動を充実させ輝かせていかなければなりません。

## 【講演Ⅱ】「これからの保健師活動に求められること」 全国師長会 会長 山野井尚美 氏

「災害対応」「人材育成」「みる・つなぐ・動かす保健師活動の展開」

### ◆災害対応

- ・平成 30 年度に「災害時の保健活動の活動推進に関する研究及び災害時マニュアル」作成に向けた取組み。

### ◆人材育成

- ・自治体保健師の業務の拡大・分散配置され、より専門性を求められるように変わってきた。

### ◆みる・つなぐ・動かす保健師活動の展開

- ・保健師活動のみえる化。保健師にしかわからないことは組織に根づかない、地域に広がらない。
  - ➡地域包括ケア体制の構築・推進の要は保健師  
「多様化・深刻化する健康課題への対応を多職種連携させる体制を作り動かしていけるのは保健師である」という自信と責任をもって、保健師活動を推進していきましょう。

## 2日目

## 【講演Ⅲ】「地域保健をめぐる国の動向」 厚生労働省健康局健康課保健指導室 室長 加藤典子氏

### ◆保健師活動領域調査の概要と、調査結果からの分析と今後の保健師・保健活動の展望について

- ・保健師活動領域調査の概要と、調査結果からの分析と今後の保健師・保健活動の展望についてデータを元に報告
- ・地域保健対策の推進については効果・効率的な活動を進めるためには住民を巻き込むことが重要。
- ・保健師の研修のあり方と自治体保健師の標準的なキャリアラダーによる能力の整理と保健師育成指針を策定。
- ・統括保健師の役割と求められている能力とは、統括保健師自らが伝え作り上げていくことが必要。

## 【講演Ⅳ】「地域特性に応じた保健活動の推進」

講師 聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授 麻原きよみ 氏

### ◆「地域/地区活動に関する情報共有の機会を業務として設定する環境づくり」が大切

- ・地区活動に関する調査結果によると、「業務分担制から地区担当制にすることによって保健師が変わったと感じられた」と住民からの声があった。
- ・若い保健師は、地区活動に対し「楽しい・充実している」と思う反面、「自信がない」との思いもあり。それを業務体制のためとしてはいけない。今回の研究の結果、結局は『地域づくりをしている』『住民と接している』という意識(認識)が重要であるということが分かった。
- ・保健師同志の日常的な情報共有の機会があることが資質向上に大きな効果がある。

